

# 令和4年 第7回米原市定例教育委員会

日 時：令和4年7月25日（月） 午後3時30分開会  
場 所：米原市役所 コンベンションホール

(出席者)

教 育 長：馬淵教育長  
教 育 委 員：中川委員、本庄委員、膽吹委員、法戸委員  
教 育 部：口分田部長  
教 育 総 務 課：梶田課長  
学 校 教 育 課：山口課長  
生 涯 学 習 課：平山課長  
ス ポー ツ 推 進 課：伊藤課長補佐  
学 校 給 食 課：藤田課長  
図 書 館：梶川館長  
書 記：奥村

(欠席者)

教 育 委 員：井口委員

## 1 開 会

## 2 教育長挨拶

皆さんこんにちは。

コロナの第7波に入りまして、小中学校はすでに夏季休業に入っていますが、直前の7月11日月曜日から7月22日金曜日の2週間に陽性だった児童生徒の数ですが、市内で偏りがありまして、春照小が7人、伊吹山中が4人、こちらは伊吹山中学校区です。あと、坂田小が9人、息長小が2人、双葉中が21人、この2週間で合計43人が陽性者となりました。ほかの学校からは報告がありませんでした。ウイルスが学校に入ると一気に広がるほど感染力が強い状況だと言えます。今日は、春照小1人と米原中1人が陽性になったと報告を受けております。それから、双葉中が21人も陽性になりましたが、中体連のブロック大会は、陽性者、濃厚接触者を除き、すべての部活が参加をしているようです。今日一部その結果を聞いていますが、例年どおり結果が出てきているようです。このような状況で夏休みに入り、ある意味安心なんです。世の中は、例えば先週のサッカーのパリサンジェルマンと川崎フロンターレの試合では、65,000人近くが会場に入って試合をしている。感染が爆発しているけれども通常どおりで行って

る。コロナについては、夏休みが明けた時点で日本がどうなっているのかということが非常に心配で、学校はどうするのかということ、8月中旬から考えていかなければならないと考えております。

別の話になりますが、新聞の朝刊で小中学生の児童生徒数が、2010年から2020年の10年間で100万人近く減少して、小中学校数も3,000校が統廃合により減少しているということです。このことをさらに調べてみると、平成元年から平成10年くらいはもっとすごい数で児童生徒数は減少していたようです。ただ、平成10年から平成20年の間に100万人近く減というのは、衝撃的な数字です。学校数も3,000校も減っているというのは、廃校あるいは休校への判断というのは、相当時間をかけて地域の人、保護者、教職員、いろいろな人の思いの中で、英断がなされていると思いますが、そういう状況であるということは考えておかなければならないと思います。ちなみに、米原市はどうかと言いますと、平成10年で小中学生が3,932人、それが2020年には3,080人、852人減ってきております。学校数は、小学校12校、中学校7校ありましたが、山東東小学校と西小学校の統合、息郷小学校と醒井小学校の統合、東草野小中学校の休校から廃校があり、学校数は19校から15校に減ってきております。ただ、ほかの記事を見ますと、過去10年間で30%以上児童生徒数が減った自治体は、全国1,892市区町村のうち346自治体ということです。このように計算しますと、米原市は21.6%です。近畿東海地方の中でも、滋賀県の児童生徒数の減少はまだ緩やかだということですが、地域差がありますので、そこを将来にわたって考えていかなければならないと考えております。ただ、統廃合につきましては、議会で質問を受けておりますが、向こう5年先までの小中学校において、2学年を一クラスにして行うような教育をしなければならないことはないため、統廃合は今のところ考えておりません。少人数のメリットを最大限に生かし、デメリットを緩和する教育を引き続き行っていきたいと考えております。一方、10年間で100万人の児童生徒が減っていく中で、通級指導を受けている小中高生は、10万人増えているということです。100万人減っているなかで、言語通級とADHDなどの発達障害と自閉情緒を合わせて増えている状況であると、これもまた一つの教育として認めて対応していかなければならないということです。以上、主に二つに分けて報告をさせていただきました。

以上、最初の挨拶とさせていただきます。本日も御審議よろしく申し上げます。

### 3 会議録承認

令和4年第6回定例会議事録

### 4 所属長報告

#### (1) 教育総務課長

報告事項につきましては、6月30日に息長小学校体育館照明他改修工事、翌7月1日には、小中学校児童生徒用机椅子購入外4件の入札を執行しております。7月4日には、契約審査会におきまして、学校ネットワーク再構築業務委託の審査をいただ

いております。7月14日には、河南中学校柔剣道場屋根瓦補強工事外2件の入札を執行しております。また、7月15日には、学校ネットワーク再構築業務委託のプロポーザル審査会を開催し、業者決定をいただいたところです。7月22日には、令和3年度の決算審査を受けております。また、今後の予定につきましては、7月29日に学校ネットワーク再構築業務委託外1件の契約議決のために臨時議会が開催されます。後ほど御審議をよろしく申し上げます。8月19日には、第8回定例教育委員会を予定しております。

## (2) 学校教育課長

報告事項につきましては、M-S I P、市立校園長会議、支援委員会を終えることができました。7月20日には無事終業式を迎えております。春照小学校と双葉中学校で学級閉鎖がありましたが、全体で40数名の感染、教員も今日までに7人の感染者が出ております。今後の予定につきましては、7月31日に人権教育研究大会を双葉中学校で行います。それから、結核対策委員会、平和祈念式典につきましては、今年は規模を縮小して実施されます。

教育センターにつきましては、例年の米原市教職員全員研修会ですが、今年も動画配信にて行います。また、本日全国学力・学習状況調査の結果が分かりました。詳細については、後日御報告しますが、小学校が各教科、全国平均から1、2点位低いようです。中学校は、数学は全国平均を上回っていて、そのほかは1、2点低いようです。経年変化を見ますと、やはり小学校の時よりも中学生になるにつれて、全国平均との差が随分縮まっている、米原市の傾向でもありますが、徐々に上がっているということを確認し、安心しているところです。

## (3) 生涯学習課長

報告事項につきましては、ルッチまちづくり大学で、教育長に小中学校の英語教育をテーマに講義をいただきました。特に米原市が英語の特例校の指定を受けて取り組んでおられる様子など、授業の動画映像などを交えて分かりやすく教えていただき、単に英語を学ぶだけでなく、それがコミュニケーション能力を身に付けることにも生かされているとの講義に感銘を受けました。

次に7月1日には、旧東草野小中学校の校舎が改装されまして、そこに吉槻行政サービスセンターと診療所が移転されました。併せて、東草野山村博物館を開設することができました。これは、東草野地域4集落の歴史や生活などを、広く知っていただくための施設になればと思っています。また、先月に引き続きいて、双葉中学校の職場体験を受け入れました。今週の伊吹山テレビの特集で、生徒が京極家墓所の紹介をしていますので、御覧いただければと思います。7月24日には、ユウスゲまつり、ルッチプラザの清塚慎也さんのコンサートなど、コロナ禍の状況ではありますが、無事に開催することができました。

今後の予定ですが、7月30日から8月7日にかけて、後援しております事業とし

て、芝居小屋 長栄座 夏のフェスティバルのチラシが届きましたので、配布をさせていただいております。また、7月30日には、職員採用の3次試験が行われます。学芸員の2次試験合格者1人が最終試験を受験されることとなります。8月6日の二十歳のつどい実行委員会では、来年1月8日の開催に向けた企画検討を始めていきます。この二十歳のつどいは、従来の成人式のこと、今年4月に成年年齢が18歳になったことを受け、名称を変更しているものです。

#### (4) 図書館長

報告事項につきまして、子ども優先利用時間帯・キッズタイムは、子どもたちが本と出合える喜びなどを表現し、保護者と分かち合える時間帯として7月から6か月間試行するものです。1回目となりました7月23日につきましては、まだ1回目ということで、普段と変わらない様子でした。引き続きPRをしていきたいと思っています。

今後の予定につきましては、8月21日に第2回図書館協議会を予定しています。令和3年度の図書館の取組について評価をいただく予定をしています。

#### (5) スポーツ推進課長補佐

報告事項につきましては、スポーツ推進委員によるニュースポーツ普及活動について、雨天中止となりましたが、コロナ禍の中、自治会での活動を可能な限り再開していただこうと、スポーツ推進委員を中心に取り組んでいただいています。

高野山旗全国学童軟式野球大会出場激励金交付式は、近江スターズが県の予選会を突破され、本大会の出場が決定しましたので、激励金の交付式を行いました。

国スポ・障スポ選手育成強化事業団体・選手指定書交付式は、開催する予定をしておりましたが、コロナの感染状況を鑑みて、当日急遽中止としました。

今後の予定につきましては、B&G財団修繕助成金授与式は、伊吹B&G海洋センターを改修するに当たり、助成金をいただけることが決定されましたので、授与式を行うものです。夢高原かつとび伊吹につきましては、8月28日が本日となりますが会議やスタッフ説明会などを開催して、万全を期したいと思っております。

#### (6) 学校給食課長

報告事項につきましては、1学期の給食は7月15日が最終日でした。7月20日には両センターの施設一斉清掃を行いました。7月1日には、学校給食会の試食会を開催しました。保護者から米原市産の特産品を使用した給食で、塩分は少なく美味しかったなど、好評をいただきました。7月12日には第1回学校給食運営委員会を開催し、委員からは、アレルギー対応の必要な子どもに丁寧に対応している、3歳から中学生までの給食の対応は、味付け等に苦勞していただいているとの意見をいただきました。

今後の予定につきましては、8月4日に両センターの合同研修会を開催します。2

学期の給食は8月30日から開始します。

## 5 所属長に対する質疑

A委員 : いじめの報告の内容の中で、被害妄想の言葉や家庭環境の問題とか、なかなか指導が入らないということがあって、SNSなどの問題もありますが、分かりやすいいじめの構造ではなく、その背景に複雑な問題がある場合は、対応する学校の力とか、発達支援センターの心理士の先生とか、いろんな方が関わっておられると思いますが、今までその人たちの持っているスキルやハウトゥではなかなか対応できない問題が非常に多くあって、横の連携持続や家庭内の連携とかはあるんですけども、医療との連携、それが精神科なのか心療内科なのか分かりませんが、何かそういうアプローチがないと、行き詰ってしまうというか、経過観察して様子を見るという形で、その家庭も診療をしている、そういうサポート体制が市として必要ではないかと思います。特に学校の先生方は、なかなかお医者さんに繋ぐことはできないと思いますが、学校教育の指導主事や関係機関の方が、必要な時にアドバイスを受けられるような体制が必要かと思います。そうでないと、なかなか指導なり対応に入っていく先生方の精神状態のこともありますし、担当者の精神状態もありますので、なかなか医療に掛かるということがずっと入る家庭もあれば、そういうことを言うことも困難とういうことも当然あると思いますので、そのあたりのアドバイスなどの対応をどうしていったら良いのか、市としても、必要に応じて予算付けをしていかないといけないのではないかと思います。

次に、2点質問ですが、1点目は、学校給食の試食会を開催されたということで、大変好評であったとの感想が出ていました。私の経験では、米原市の給食は大変美味しいということで、私の知人で他の市町から転入された先生方とか、転入された保護者の方や子どもから、米原市の給食は以前から非常に美味しいし、特にデザートが頻繁に出るのはありがたいという意見を聞いたことがあります。日常から非常に頑張ってください、何かあったら大変な職場で、中毒や異物混入など何もないのが当たり前で、それが一番大変だと思います。質問は、給食の試食会は、学校給食委員会の委員の方が試食されたのか、何か募集をされたり、PTA会員の代表がされたのか教えてください。もう1点、教育センターの研修について、研修の参加状況について、学校間でばらつきがあると思います。この結果は学校に知らされていますか。教育センターの研修の状況を、学校の先生方も知っておられますか。

事務局 : 7月1日には、小中学校の児童生徒の保護者を対象に参加者を募集して、保護者向けに学校給食試食会を開催しました。24人の保護者に参

加いただきました。それとは別に、7月12日には毎年開催しております学校給食運営委員会向けに試食会を会議の前に実施しました。

- A委員  
事務局 : 保護者を対象に募集をされたということですか。
- A委員  
事務局 : 例年は開催していませんが、子どもたちが食べている給食を保護者にも食していただくということで企画し、7月1日に開催しました。
- A委員  
事務局 : 良い企画だと思いますので、今後も啓発を含めてやっていただけると良いと思います。
- A委員  
事務局 : 研修結果については、学校へ周知しているものではないと思います。参加率の高いところについては、校内研修で全員参加しているというような取組をされているとのことですので、そういった取組も紹介していきたいと思います。医療へのアプローチの件ですが、今年に入ってから何件か事例がありまして、ケース会議へも健康づくり課の保健師に入ってもらい、ふくしあの先生にも相談しながら対応している事例が複数あります。実際に、医療への繋がりが必要という事例については、健康づくり課の方から働きかけをしていただき、なるべく早期に対応ができるようにしているところです。
- A委員 : 医療に繋がる前の段階で、相談を受けるほうが迷ったり、何か行き詰ってしまって相談がうまくいかないとか、そういう時にアドバイスを貰える先生が必要で、相談を受けている担当者が危険ではないか。行政関係は、弁護士などへ相談されると思いますが、医療面はそういう部分が弱いと思います。結構そこが突破口になって、助言をいただいたり、紹介していただいたり、相談を受けている方の精神衛生上も良かったとか、私が一人で背負わなければということがないので、時には保護者の方にその先生を紹介したりということもできる。ただそういう人材があるかは別ですが、発達支援センターでは、滋賀大学の精神科の先生にスーパーバイザーになってもらい、聞きに行き解決できたこともあります。何かそういう手立てが取れば良いと思います。
- B委員 : 最初の事例は登下校中のことなので、子どもたちだけで登校しているときとかに何か起きると、その後学校に行き渋ることがないようになればと思います。子どもたちは、学校や生活の中でストレスがたくさん溜まってきていると思います。その子自身の何かいいところが見つけられたら、2学期にそれが生かされる場が設けられると良いと思います。
- C委員 : いじめの事例について、何度も繰り返されている事例も出てきていますし、何か心の部分で助けられる部分というか、その子の性情が理解できるような体制があれば良いと思います。繰り返されることがないことが一番良いことだと思いますし、アドバイスができるような体制ができると良いと思います。

4月から伊吹地区の放課後児童クラブが土曜日も開所となりました。休みの日に子どもたちを預かるというシステムができて、たくさんの支援員の方が日常から関わってくださっています。それに加えて夏休みは一時的に預かる子どもたちがすごく増えていて、お話ボランティアで訪問すると、普段30人位ですが、90人の子が来て支援員の方もたくさんいらっしやいます。特別支援学級のお子さんや配慮が必要な子どもも来られているので、子どもたちの中で支援員に対する暴力とか、なかなかいうことを聞けない、人にちょっかいを出したりするお子さんが一部おられるということも聞いていますので、どのように係わったら良いのか、支援員の研修もそうですし、学校の先生とのコンタクトとか、何か前向きにできることがないのか、支援員の方とも話をすることがあり、子どもたちが前を向いて、支援員の方や地域の人といろいろなことに向き合えるような体制ができると良いと感じました。

もう1点、大東中学校でビブリオバトルというものをされていたことを、伊吹山テレビで見ました。子どもたちのプレゼンテーションみたいな形で、みんなの前で自分のおすすめの本について話をしている姿を見ました。もう一つは伊吹山中学校では、初めて読み聞かせを全校で行いました。中学校では、本をあまり読んでいないということを先生が実感されていて、1年から3年まで同じ本で読み聞かせを行いました。その後の感想の幅がすごく広くて、自分の生きざまとか考え方まで子どもたちが本を1冊読んだ、聞いたことの中で、感想を述べてくれたので、大変頼もしく、将来いろいろなことを考える子どもたちだということを実感しました。大きくなってからの自分の生き方に繋がるような、そんな読書に興味を持ってもらえるといいなと感じました。

D委員 : 最初の教育長の話で、通級教室の人数が増えてきたということを知りました。年齢が上がってきても社会に参加できない、人と交わることができない人が増えてきています。学校で小中学校とフォローをされていて、社会人になっている人もいます。補導員等の立場で見ていると、一人一人は優しい子なのですが、社会に参加ができない。小学生とかもっと小さいうちから社会との繋がりを見守るような部署が必要ではないか。問題を一つ一つ分けて考えると、なかなか最終的に社会参加ができない。独立できて就労もできてというところに到達しようと思うと、小さい時から考えていく必要があるんじゃないかと思いました。

それと、研修について小中学校の定数とあるのはどういう意味なのか。ICT活用の研修などは不参加の学校が結構目立つというふうに思いました。学校も規模が違うので一概には言えないと思いますが理由があれば教えてください。

- 事務局 : 定数は、その学校の教員数を記載しています。参加率を出すために記載している数字です。
- D委員 : 各研修項目に何人くらい出てほしいという数字ではないと。
- 事務局 : そうです。各学校ごとに担当者の参加を求める研修もありますが、希望研修もありますので、参加者がなしという研修もあります。
- 教育長 : 先ほど生涯学習課長からの報告がありましたが、伊吹山テレビでが双葉中学校の生徒が京極墓所について説明しているということですが、双葉中学生が岩脇の列車壕とかそういうところの説明をするのは自然なことですが、京極墓所へ行って、そこで学んで、結構難しいことを発信しています。子どもたちにとっては非常に良い経験であったと思いますし、子どもたちの声を使うと発信力も大きいと思います。図書館のまいばら読書の日も毎月やっていますので、大東中のビブリオバトルみたいなものをどこかで入れられると、私の推薦本というような形でシリーズとして入れていくと、もっと発信力があるのではないかと思います。小さい子の絵本でも良いと思います。そんな子どもたちの声を使って各課から発信をしていくというのは一つのアイデアかと思しますので、検討いただきたいと思います。

## 5 議案審議

### 議案第 23 号 後援等名義使用承認（共催） 【図書館】

（内容）

別紙のとおり後援等名義使用承認申請書（後援）が提出されたので、米原市教育委員会後援名義の使用承認に関する規程により、この案を提出するものである。

事業名 ローカルメディアの魅力発見展

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

### 議案第 24 号 製造請負契約の締結について 【教育総務課】

（内容）

次の製造請負契約の締結に関する議案を令和 4 年米原市議会第 2 回臨時会に提案することについて教育委員会の意見を求める。

- 1 請負契約名 米原市学校ネットワーク再構築業務委託
- 2 請負金額 金 2 1 7, 8 0 0, 0 0 0 円
- 3 請負業者 滋賀県東近江市五個荘築瀬町 11 番地 3

藤野商事株式会社

代表取締役 藤 野 滋

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 25 号 財産の取得について

【教育総務課】

(内容)

次の財産の取得に関する議案を令和 4 年米原市議会第 2 回臨時会に提案することについて教育委員会の意見を求める。

- |               |  |
|---------------|--|
| 1 財 産 の 種 類   | 備品   |
| 2 取得物品および数量   | 小中学校ノートパソコン 141 台                            |
| 3 取 得 金 額     | 金 19,250,000 円                               |
| 4 取 得 の 相 手 方 | 滋賀県米原市顔戸 2034 番地<br>株式会社 松居土木<br>代表取締役 松 居 悟 |

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 26 号 後援等名義使用承認（協賛）

【図書館】

(内容)

別紙のとおり後援等名義使用承認申請書（協賛）が提出されたので、米原市教育委員会後援名義の使用承認に関する規程により、この案を提出するものである。

事業名 講演会「今村翔吾のまつり旅」

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

## 6 質疑応答

特になし

## 7 その他

(1) 令和 4 年第 8 回定例教育委員会の開催について

日 時：令和 4 年 8 月 19 日（金）午後 3 時 30 分から

場 所：米原市役所 コンベンションホール

(2) 令和 4 年第 9 回定例教育委員会の開催について

日 時：令和 4 年 9 月 28 日（水）午後 3 時 30 分から

場 所：米原市役所 コンベンションホール

## 9 閉 会

以上をもって令和4年第7回定例教育委員会を午後4時35分に終了した。